

## 2016年 JIFAS 事業の方向性

**新年号**

江戸時代のなかば、一人の大天才がいた。平賀源内。エレキテル(摩擦電気発生機)の発明で知られ、ほかにも数々の分野でイノベーションを起こし、「江戸のレオナルド・ダ・ヴィンチ」と称される。「一人のもっている技術や知識は限界がある。多数の専門家、愛好家が所属、身分を問わず集まって、珍品をもちあつて研究し合えば、知識はいつ頃にひろくなる」(歴史人物の知恵 朝日新聞出版)

### 水産時代の開幕告げる新世紀

世界の人口は60億人に達し、なお増え続けている。人口が百億人に迫る次の40年に、私達はこれまで人類の長い歴史を重ねてつくり上げてきた食糧生産システムと同じだけの生産力を持つ新しい食糧生産システムを開発しなければならない。

しかし、従来のように森林を切り開き、農薬と化学肥料に頼る農業は環境問題と相俟って、既に限界にある。新しい食糧開発をどこに頼ることが出来るのだろうか。

そのような情勢下での今、養殖を中心とした水産開発が世界的課題として認識されるようになった。近代養殖の概念が生まれて僅か30年の間に示した可能性があまりに大きいからである。

世界を代表する知性の一人ピータードラッカーが、ニューヨークタイムス年頭の論説で「新世紀に最もエキサイティングな産業はインターネットでなく養殖だ」と論じている。将来の食糧問題に理解を迫る勇気ある提言だと言える。(2000.7.21 JIFAS NEWS No61)

ドラッカーは名著・プロフェッショナルの条件、ネクストソサイティの中でも「eコマースは、経済と市場と産業構造を根底から変え始めた。これからは、この変化に続いて、いくつかの予想もつかない新産業が出現する。すでにバイオテクノロジーが現れている。水産養殖が現れている。それは予想外の技術から生まれる」と述べています。

### 予防医学の時代

現在、日本は世界の高齢者先進国、課題先進国です。医療費は40兆円を超え、2025年に団塊世代が75才を迎えます。そして、2015年65歳以上の要支援、要介護者600万になることが予想されています。

JIFASは水産養殖を主にコンサルティングを行ってきましたが、肉、農産物を含め食糧全般にわたって優れたメンバーが集結しています。病気にならないためにはどうするか？古代から「**医食同源**」という言葉がある通り、薬に頼らなくて食事で予防することはできないか？をテーマに進んでいきます。医者よりも自分のからだをよく知り、予防、診断、治療までも出来ないかを目指して行きます。そのためには、徹底した情報収集を行い、この主旨に賛同するより各業界、学会、団体の強固なメンバーの参加を願い、産学官協働の精神で前進していく所存です。よろしくご依頼申し上げます。